

滋 賀 地 方 講 演 会

主催：公益社団法人土木学会関西支部

後援：滋賀県、滋賀県立琵琶湖博物館、滋賀県建設技術協会

本年度の支部恒例の地方講演会は、滋賀県において開催いたします。

琵琶湖に代表される豊かな自然と太古の昔から連綿と続く歴史文化を有する滋賀県。

今回の地方講演会は、『琵琶湖と土木のかかわり』と題して、滋賀県の地盤と琵琶湖との関係や、琵琶湖に関する新たな取り組みについてお話を伺いたいと思います。

みなさまの多数のご参加をお待ちしております。

記

1. 日時：**平成28年2月26日(金)**
13:15～16:45 (開場 12:45)

2. 会場：**滋賀県立琵琶湖博物館**
〒525-0001 草津市下物町 1091
JR琵琶湖線「草津」駅 バス約 25 分
レンタサイクル約 30 分(約 8km)
駐車場も無料で利用可能
詳細は博物館ホームページをご覧ください。
URL <http://www.lbm.go.jp/>

3. 定員：200 名

4. 聴講：無料(来聴歓迎)

5. プログラム(敬称略)

13:15～13:20	開会挨拶	土木学会関西支部 支部長	河内 清
13:20～14:50	「琵琶湖と滋賀県の地盤」～滋賀県の地盤の成り立ちと琵琶湖の生い立ち～	滋賀県立琵琶湖博物館	里口 保文
14:50～15:00	休憩		
15:00～16:00	「琵琶湖と治水」～新たなステージへの対応「滋賀の流域治水」の取り組み～	滋賀県土木交通部 流域政策局 流域治水政策室	矢田 聡彦
16:00～16:10	休憩		
16:10～16:40	「琵琶湖と道路」 ～自転車で琵琶湖一周!!「ぐるっとびわ湖サイクリン」の“これまで”と“これから”～	滋賀県土木交通部 道路課 道路保全室	岡野 聡
16:40～16:45	閉会挨拶	滋賀県建設技術協会 会長	松野 克樹

6. 申込方法：[土木学会関西支部ホームページ](#)からお申し込みください。

※ 申込完了後にメールで届く「参加申込受付」が参加証となります。印刷して当日ご持参ください。

※ メールアドレスの入力漏れ・入力ミスがないよう、くれぐれもご注意ください。

7. 申込締切：平成28年2月12日(金)

定員に達し次第申込を締め切ります。定員に余裕がある場合は締切後も引き続き申込を受け付けます。

8. 問合せ先：公益社団法人土木学会関西支部「滋賀地方講演会」係

〒541-0055 大阪市中央区船場中央 2-1-4-409

TEL 06-6271-6686 / FAX 06-6271-6485



講師略歴・講演概要

◇里口 保文（さとぐち やすふみ）氏

大阪市立大学大学院理学研究科後期博士課程修了
博士（理学）。専門は第四紀地質学、火山灰層序学。
現在、滋賀県立琵琶湖博物館 専門学芸員。

・ご講演「琵琶湖と滋賀県の地盤」～滋賀県の地盤の成り立ちと琵琶湖の生い立ち～

滋賀県にある琵琶湖は、日本最大の湖ですが、日本で一番古い湖だということはあまり知られていません。その生い立ちは複雑で、おおよそ 400 万年前までその起源をさかのぼることができるのですが、はじめの湖は現在の場所にはありませんでした。そういった琵琶湖の生い立ちは、この地域に分布する地層から理解されます。また、琵琶湖があるこの地域の地盤や地形は、様々な環境変化の末にできあがったものです。そういった地盤の成り立ちと環境変化について、ご講演いただきます。

◇矢田 聡彦（やだ としひこ）氏

1971 年生まれ
平成 6 年 滋賀県採用
現在、滋賀県土木交通部 流域政策局 流域治水政策室 企画・計画係 副主幹

・ご講演「琵琶湖と治水」～新たなステージへの対応「滋賀の流域治水」の取り組み～

滋賀県では、平成 26 年 3 月に滋賀県流域治水の推進に関する条例を制定し、どのような洪水にあっても、①人命が失われることを避ける（最優先）、②生活再建が困難となる被害を避けることを目的として、自助・共助・公助が一体となって、川の中の対策「ながす」対策に加えて、川の外の対策「ためる」「とどめる」「そなえる」対策を総合的に進めていく治水を実践しています。

今回は、琵琶湖と治水に関すること、上記条例の概要と新たな治水施策として道づくりでも治水に配慮する「盛土構造物設置等ガイドライン」について紹介します。

◇岡野 聡（おかの さとし）氏

1975 年生まれ
平成 12 年度 滋賀県採用
現在、滋賀県土木交通部 道路課 道路保全室 防災・安全係 副主幹

・ご講演「琵琶湖と道路」

～自転車で琵琶湖一周!! 「ぐるっとびわ湖サイクルライン」の“これまで”と“これから”～

風光明媚な湖岸を走る自転車での琵琶湖一周は、子供のチャレンジや学校行事、のんびりぶらぶら観光サイクリストから数時間で一周するアスリート系サイクリストまで、大変たくさんの方に楽しまれています。

日本一の湖「琵琶湖」を安全・快適に自転車で楽しんでいただくため、既存の道路を利用し選定されたルートが「ぐるっと琵琶湖サイクルライン」です。観光案内やサイクリングの注意事項などを記載し、無料配布されているマップとあわせて、現地に案内看板や距離標などを設置しています。

近年、自転車が大きな盛り上がりを見せており、琵琶湖一周も「ピワイチ」として今まで以上に注目されているところです。

今回は、この「ぐるっと琵琶湖サイクルライン」の、策定時・現在・今後について紹介します。